



赤堀歴史民俗資料館のひな人形の収蔵資料展は、毎年展示テーマを変えています。今年は浮世人形や舞踊人形と呼ばれたガラスケースに入ったおひなさます。現代では飾る方は少なくなりましたが、昭和期に脇役的に飾られていたこの人形も、今回は主役です。本紙では、その中でも、藤娘と娘道成寺を紹介します。

ふじ むすめ

舞踊人形 藤娘

歌舞伎舞踊で演じられる藤娘は、江戸時代後期に中村座で初めて演じられました。

藤の精である若い娘が笠を被り、藤の小枝をかざしながら姿を現して、恋心を唄いかける演目です。昭和初期には舞踊人形として登場し、人気の舞踊人形の一つでした。



昭和10年～20年頃



昭和30年頃

収蔵資料展

ガラスの箱のおひなさま

開催期間 2月7日 金 ▶ 3月16日 日

むすめ どうじょうじ

舞踊人形 娘道成寺

歌舞伎舞踊で演じられる娘道成寺は、江戸時代中期には演目として登場し、歌舞伎舞踊の頂点ともされています。

道成寺の鐘の前で烏帽子を被った娘が、かっ鼓を打ちながら華麗に舞い踊り、娘が鐘に飛び込むと大蛇が現れるという演目。娘道成寺の舞踊人形も、昭和初期から登場し、人気の舞踊人形の一つでした。



昭和30年頃



昭和30年代中頃

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日 2/24 は開館 2/25 は休館日）・年末年始

開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時30分） 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98

電話 0270-63-0030 FAX 0270-63-0087 Email: siryokan@city.isesaki.lg.jp 入館無料